

ユニーのキラキラ輝く女性達を紹介します



執行役員 グループ環境社会貢献部 部長 百瀬 則子

<主な経歴>
 ▶1980年 入社、東京本部（当時）ユニー-日吉店衣料服飾担当でスタート
 28歳で管理職に登用され、29歳で結婚、愛知県に転居本社勤務
 ユニー東浦店業務副店長
 ▶1997年 環境部マネジャー、2003年女性初部長に就任
 ▶2013年 グループ環境社会貢献部長
 ▶2014年 現職に就任

★キラキラなこと★

入社以来さまざまな部署で働き、女性初の執行役員になりました。環境部で部長は一人一人から始め、地域に根差した環境活動、お客様や行政・従業員と一緒に進めてきました。その成果を認められ、2008年には総合小売業で唯一のエコ・ファースト企業に選ばれました。2013年からはユニーグループの各企業と環境社会貢献事業を進めています。環境省や農水省、愛知県などの委員も務めています。

★大変だったこと★

長野県本所に住む義父の介護をしながら勤務した時は、働き続けることが困難だと思つことが何度もありました。また、仕事の内容や進め方で上司と対立し、なかなか前に進めず悩んだこともありました。そんな時に話を聞いてくれた職場の友人や励ましてくださった方達のおかげで今も働き続けています。

★仕事で夢を叶える★

私は学生時代からカブスカウトのボランティアをしていて、いつか次世代を担う子ども達のために環境学習を「お買い物」を通して実施したいという夢を持っていました。環境部に配属されて実現できた時は本当に嬉しかったです。現在はユニーに若い頃からお買い物に来ていただいた高齢のお客様に、楽しく過ごしていただくため「認知症サポーター」を増やしています。私も将来お世話していただくことを夢見しています。



あいち女性の活躍促進事業のキャリアアップ講座で講演しました



ピアゴ知立店 店長 花井 彩由美

<主な経歴>
 ▶1987年 入社、ユニー東岡崎店業務課でスタート
 25歳で結婚、翌年長男を出産、4年後長女を出産
 子育てをしながら管理職、副店長に登用される
 ▶2015年 現職に就任

★キラキラなこと★

私の結婚・出産当時は、会社を辞める人がほとんどでしたが、働くことが楽しくて出産休暇満期を待たずに復帰しました。現在働く店は、かつて副店長もした店。「店長さん」と、お客様からよく声をかけられます。期待されていることを肌で感じている充実した毎日です。

★大変だったこと★

出産・子育ては大変だったけれど、夫や近くに住む家族が協力してくれて乗り越えました。何より助けられたのは、上司や同僚のあたたかな支援です。おかげさまで働き続けられました。

★これらの子育て支援について思うこと★

長期休業を認めることもですが、個々の事情に合わせたシフト勤務や自宅勤務など、育児をしながらでも働けるような制度が必要だと思います。休んでいると社会から取り残されたようで焦ったり、希望が見えなくなったりする時があります。短時間でも働くことで復帰しやすくなるのです。



業務サポート本部 店舗会計部 部長 松井 桜子

<主な経歴>
 ▶1981年 入社、ユニー乙川店業務課でスタート
 24歳で結婚、25歳長女出産、38歳離婚
 シングルマザーになり、一念発起して管理職試験に挑戦、合格
 ▶2002年 ユニー武豊店 業務副店長
 ▶2008年 経理財務部チーフマネジャー ▶2013年 現職に就任

★キラキラなこと★

店の売上や出納に関わることを、店舗会計部が担当しています。店の作業を軽減し、より精度の高い仕事を効率的に行うことが私の務めです。メンバー 84名の本店で一番大きな部署を任されています。

★大変だったこと★

店舗会計部立ち上げ当初は多くの苦労がありました。22年間現場で積み上げた経験と実績を基に作業手順を見直し人材を育成して、現在の188店舗の会計業務を遂行する部署をつくり上げました。家庭では、結婚や子育てに悩みながらも働き続け、シングルマザーになってからは一家の大黒柱として、管理職試験にチャレンジ、副店長・部長と次第に責任が重なりながらも、多くの女性従業員の好意に支えられ頑張っています。

★仕事と家庭の両立に思うこと★

現在は出産後の制度が充実し、働きやすい環境になっています。このような制度を利用しながら、自分に合った働き方を選び実力を開花できるように頑張っていきたいと思います。



IT物流本部 弥富物流センター担当 マネジャー 大山 尚代

<主な経歴>
 ▶1982年 入社、稲沢配送センターでスタート
 ▶1987年 結婚
 ▶1995年 佐川急便に10カ月間出向
 ▶2008年 マネジャーに昇格、現職に就任

★キラキラなこと★

弥富物流センターは、国内で仕入れた商品を店舗に配送する以外に、海外で製造された開発商品の取り扱いもあり、物流の重要な拠点です。その運営や施設の維持管理を任せていただいていることに大きな喜びとやり甲斐を感じています。

★大変だったこと★

物流業務の外部委託に向けて、自社の物流を伝えるため佐川急便に出向した時は、風土の違う中で大奮闘した10カ月間でした。また、4年前の東日本大震災では、被災地へユニーとサークルKサンクスが用意した支援物資を、混乱した道路状況をつつず確認しながら届けました。

★物流部門で女性が働くこと★

物流業界は男社会で、事務職以外で女性が働くには苦労が付き物でした。認められようとフォークリフト免許を取得。マネジャーに昇格した時から、社外のお取引先様にも一目置いていただけるようになりました。今ではユニーの物流はアウトソーシングで管理業務がほとんど。男女を問わず活躍できる部署です。



アビタ岩倉店 開店準備副委員長 森 宣子

<主な経歴>
 ▶1987年 入社、ユニー守山店レディスでスタート
 ▶1993年 レディス課長に昇格、その後VPアドバイザー
 介護と仕事を両立させながら、テナントマネジャーに就任
 ▶2015年 3月、現職に就任

★キラキラなこと★

入社以来、新設部署への異動などを含めいろいろな経験をさせていただき、振り返ってみれば、無駄なことは何もなかったと思っています。現在は新規開店店舗のテナント担当副店長に任命され、店舗メンバーと一緒に「お客様に愛される新しい店舗づくり」という目標をもつことができました。

★大変だったこと★

14年ほど前に父が入院し他界。直後に母も倒れ、一人奔走する辛い日々でした。当時は介護休業制度がなかったため、職場の同僚の理解と協力があつたからこそ、仕事を続けられたと今は感謝しています。

★高齢の家族との暮らしで思うこと★

家の事情で追い込まれたときは、考えすぎず一日一日を大事に暮らすことがいいと思います。家族に何かしてあげたい時は後悔をしないためにもやっておくことです。今は母に、体が弱ったことで失った自信を取り戻してほしいと思い、外出するきっかけを積極的につくることと、明るく笑いのある環境づくりに努めています。

ユニーグループ・ホールディングスのダイバーシティ推進委員会

ユニーを傘下に置くユニーグループ・ホールディングスは、女性や障がい者、高齢者の活用を推進し、各々の個性や価値観を尊重するとともに、各々がもつ能力を発揮することにより、継続的な成長を目指すために、2014年1月に「グループダイバーシティ推進委員会」を立ち上げ、さらに分野ごとに現行の課題や問題点を整理・検討する5つの小委員会を設けました。毎月開かれる小委員会で話し合った議題は、ダイバーシティ推進委員会で検討され、方向性や新制度として承認されています。2014年12月の推進委員会では、正社員再雇用制度と女性人材育成研修について承認され、運用に向けて検討を進めています。

グループダイバーシティ推進の構成

グループダイバーシティ推進委員会

委員長：ユニーグループ・ホールディングス 社長 佐古 則男
 副委員長：サークルKサンクス 社長 竹内 修一

推進委員会事務局

- 女性の活躍につながる制度
- 女性専用の人材育成プログラム
- 女性の採用割合検討
- 障がい者の雇用促進
- 60歳代が活躍できる制度・風土